

いつも伊と錦をごひいき下さいまして誠にありがとうございます。

今年のゴールデンウィークはどのように過ごされましたか？小生の家族は妻と長女は帰省、次女は初の海外（韓国）で学生の交流会に参加というのもあって、久しぶりの「ひとり暮らし」を体験しました（笑）でもやっぱり家にいても面白いことがないなと心機一転、車を走らせて気の向くまま地面に棒を立てて、倒れたほうに向かってみよう！みたいな雰囲気北東へ向かいました。

出発は午後2時。いかに計画をしてないかがわかります（笑）山口宇部道路を通過して山口市に向かいそして津和野をさっと抜け、国道9号線をひたすら真っすぐ駆け抜けます。目的地はまだ定まっておりませんが、行けば何かあるでしょう？と途中道の駅で休憩しながら……。

3時間くらい走ったでしょうか？道の駅で何やら日帰り温泉特集をしています。ここはどうも浜田にいるようで、近そうな温泉は「湯屋温泉」道の駅から車で15分くらいでしょうか、ちょっと小高い所にある小さな温泉ですが、ものすごくリフレッシュ。ゆったり浸かって旅の疲れを癒します。お湯につかるって本当にいいですね～。そしてまた車を走らせます。



そしてその日の夜にたどり着いたのは「出雲」なのでした。道の駅は全国からの観光客の車で満杯です。どうしようかとグルグルしていたら、海岸沿いに駐車場があったのでそこで夜を過ごすことに。近くで外国人の方たちがバーベキューをしていて、歌って踊ってめちゃくちゃ賑やかな感じ。とはいっても混ぜてとはいえず（笑）お弁当を買い込んで時が静かに過ぎるのを待ちます。「早く夜が明けないかな～」と思いながら目をつむるとスーッと眠れたようです。

目覚めたのは朝5時頃。昨日の賑やかさはとっくに静かになって、静けさの中に心地よい風が通り抜けます。おかげさまで今日はお天気みたい。海を眺めて深呼吸。道の駅でゲットしたガイドブックをみると、なんとすぐそこは「稲佐の浜」でした。

次に向かったのは「日御碕神社」神話に出てくるお社だそうですね。そして日御碕灯台へ。海からニャーニャー猫の声がするので、ここは猫が多い地域なんだろうなと思っていたら、どうも様子が違います。空からもニャーニャン聞こえるのです。変だなと思っていたら“看板”が。すぐ近くに「経島」（ふみしまと呼ぶそうです）があって、そこは西日本で唯一の“ウミネコ”の繁殖地なのだそうです。周りは遊歩道のようになっていて、経島に近づくほどニャーニャー具合が大きくなります。うみ「ねこ」ってそういう意味だったのかとナットク。朝一からいろんな初体験をしたのでした。時刻はまだ朝7時くらい。





江戸時代の雰囲気が残る街並みがあってその奥には公開している坑道があるというので歩きますが、これが思った以上に歩くのですね。。。ゆっくり歩いて片道1時間くらい。これは僕にとってはちょっとしたハイキング並みです。日頃の運動不足解消かと思いつつ街並みと自然も鑑賞。ここは「古民家再生」にはとても良さそうなところだなあと感じながら、途中激しい雨と風に安い傘の骨も折れてとハプニングもありながらも進んでいきます。どうもレンタサイクルもあ



ったようで、スイスイと電動自転車が追い抜いていきます。歩く選択をして失敗した(笑)と羨ましい気持ちになりながらも、道には初めて見るお花も咲いていて、江戸時代の先人たちもここを歩いていたんだとか、坑道もその当時は私たちがイメージする機械も当然ないので、手彫りでこれだけ掘って進んだのかと想像しながら行ってきました。そこは終わって「石見銀山世界遺産センター」に行くと、あの短かった坑道は全体のごくごくわずか一部で規模がものすごく大きかったのがわかります。先にこっちを見てからの方がよかったも(笑)お昼は「ぎんざんバーガー」めちゃ旨でしたよ。こうしてわたしのゴールデンウィークの一人旅はおわったのでした(▽▽)

ここまできたら、次はやっぱり出雲大社にお参りしないと、ということで「出雲大社」へ。早朝でも結構な人々がお参りされています。ご縁つなぎと商売繁盛をご祈願してまいりました。



朝がまだ早いのもあって、どこもお店が開いてません。どうしようとパツと思いついたのは「世界遺産」。そう、ご想像の通り「石見銀山」に行ってみよーということで、また車で移動。出雲大社から1時間位でしょうか、無事に到着。ただここは駐車場がとても少ないようで、少し待って偶然他の方が出られたタイミングで駐車できました。実は石見銀山も初めて訪れる場所です。



建具で化粧した自動販売機がなかなか風情があります



6月は「錦の彩り展」です！
同封しているカードに掲載しております和雑貨をはじめフォーマルの着物や帯、そして草木染めの紬など、着物の良いところがたくさん詰まっ

たイベントです。今回のフォーマルの帯は「龍村美術織物」をメインに豪華絢爛さもあり、格調もある帯を種々集めましてご覧いただけます。お持ちの着物に合わせて、また新しい装いに、ぜひご覧いただけますようお願い致します。



フォーマルの着物を着る場面は控えめに言っても見せどころです！きっちりとしている、品位や格調がある、厳かな場面であればあるほど、年齢を重ねるごとに「まちがいのない」装いが求められていると思います。このたびご紹介する龍村美術織物の帯はその「まちがいのない」装いにはぴったりの良い帯です。帯は着物よりも一格高くとも申します。それは価格ではなくて「品格」のこと。この機会にぜひ美しくも優美さと品位と格調があり、美しい帯の数々を手にとってご覧ください。



草木染の紬やおしゃれキモノ

フォーマルの着物や帯には、優美さや格調などが求められるのに対し、おしゃれキモノは打って変わって自由度が高いですよね。色や柄、最近ですと気温次第にはなると思うのですが、単衣ものなど、「自分の着たいときに好きなものを着る」のが主流です。感覚としてもお洋服と一緒にです。

そこでおしゃれモノ以下カジュアルという着物の醍醐味ってなんだろうと思ったときに、すぐ思い浮かぶのは、やっぱり生地風合いかなと思います。呉服店なので特にそう思うのかもしれませんが、生地風って見た目以上

に大事な要素だと思います。色や柄も特徴があって好みの分かれるところですし、それも確かに大事なのですが、生地がよくないとゴワゴワしたりペラペラしていたりと、結局着ていてもどこか心地よさが少ないのではないかと思うのです。

本当は生地も良くて、色や柄も「自分好みにピッタリ」というのが良いですよ。



それは本当に出会うべくして「出会える」貴重な機会だと思いますので、いろいろご覧になって膝上においてみたり、鏡の前で顔元に合わせたりしてみてください。着物は反物がほとんどですので想像力がいりますが、着物として出来上がった時のイメージや、それを着てどこか好きな場所でお茶をしていたり、お友達とお話ししていたり、お好きな空間で過ごしているイメージを浮かべてみてください。

私のオリジナルにはなりますが、座ってお膝の上で反物を広げて、足に沿わせてみますと、持っている帯と意外と合うかなとか、着た時のイメージはこんな感じかなと浮かびやすい気がします。「いつもは選ばないパターンの着物なんだけど、それをしてみたら結構印象が良くて、思い切って作ってみたら」とても良くて「街角で知らない方から着物とても素敵ですね！良いですねって褒められたんですよ」ということはよくあります！

6月16日から始まる「錦の彩り展」お好きなものを色々探してみてください。期間中のみキャンペーンや限定企画も予定しております！ぜひお時間を頂戴しまして、楽しい時間をお過ごし頂きたいと思います。ご来店心よりお待ちしております！

伊と錦で出来ること

- きもの、帯、長襦袢など、素敵な組み合わせで「新調」
- お仕立て直し、シミ抜き、お洗濯などの「きものメンテナンス」
- 着物の染め直し、地色替え、色無地のお誂えなど「きもの加工」
- 白生地を選んで振袖や留袖、訪問着や附下、小紋など「着物の制作」
- ジュエリーやバッグなど、着物とはまた別の美しい装いの「ご提案」

「こんな着物が欲しい・見てみたい」

ご注文はご遠慮なくお電話でご連絡ください
ご予算などありましたらお気軽にお伝えください